

疾病 (異常)	<b>24 腹水症</b>
肉眼 所 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腹部が著しく膨満して波動感がみられ、腹部の皮膚は透明感のある色調となっている。</li> <li>・黄色透明あるいは血様色の腹水が肝腹膜嚢内に貯留し、時にゼラチン様物を入れることもある。</li> <li>・肝臓はうっ血、萎縮、硬化し、表面には凹凸が強く現れることが多く、時に肝被膜の白濁肥厚が認められる。</li> <li>・中抜き工程での特異的な現れ方として、中抜き機により前胸の体腔壁が破れ、極稀に胸部前方に血様物の貯留がみられることがある。</li> </ul>
廃棄等 の根拠	別表第10

 <p>1</p>	 <p>2</p>	 <p>3</p>
<p>腹部は著しく膨満している。</p>	<p>開腹後は、肝臓が萎縮、硬化しており、肝被膜の一部に白濁、肥厚がみられ、黄色腹水が貯留している。</p>	<p>脾臓に異常はなく、心臓は右心室の拡張、肝臓は腫大、被膜の肥厚および不規則な凹凸がみられる。</p>
 <p>4</p>	 <p>5</p>	 <p>6</p>
<p>肝腹膜嚢内に血様色のゼラチン様物が認められる。</p>	<p>大腸菌症を伴った腹水症では、肝被膜の白濁肥厚と白色ゼラチン様物の付着が認められる。</p>	<p>中抜き機により前胸体腔壁が破れ、血様色のゼラチン様物が胸部の前方に貯留する場合がある。</p>